

指導者実習資料 7

第3章「面接対応」『3 窓口以外の対応』における「窓口以外の対応のロールプレー」を指導する。

[窓口対応のロールプレー]
(60分)

参考シート8の説明が終了。

- **(発言)** これから窓口以外の対応についてのロールプレーを1つ行う旨話し、ロールプレーの状況設定についての説明、ロールプレーの実施、講評という流れでロールプレーを進める旨説明する。

(ロールプレーのサイクル)

(説明) 実施するロールプレーのシートを参照させながら、ロールプレー実施のねらい、状況設定、ロールプレーの流れ、観察のポイントを簡単に説明する。(2分)

↓

- **(実施)** ロールプレーを実施する。(5分程度)

↓

- **(配付・講評)** 実施したロールプレーの職員役メモを住民役に、住民役メモを職員役及びその他の参加者に配付し、職員役の演技について講評する。自らの演技について演者の感想を聞いた後、演技について他の参加者の意見を求めながら講評してもよい。(5分)

- **(実施)** ロールプレーのサイクルを指導者実習7に当たる研修参加者が指導する。

◆窓口以外の対応のロールプレーは2つ用意されており、そのうち1つを実施する。これを指導者実習7とする。

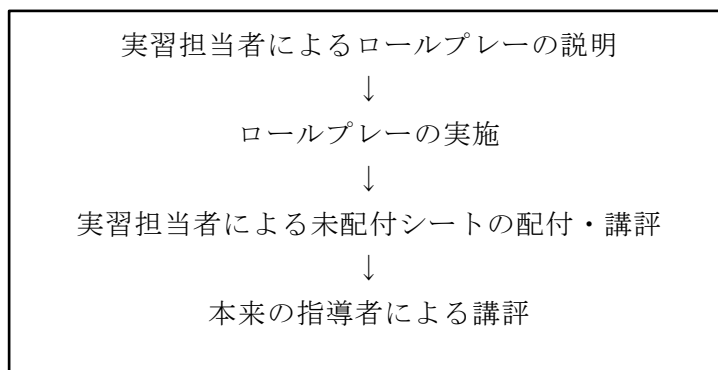
◆各ロールプレーの講評については、配付されたシート23「窓口対応のロールプレー観察のポイント」を参考にするとよい。

◆**指導者実習7**はここから始まり、ここで終了する。(15分)

- （講評）本来の指導者が、指導者実習 5 を行った研修参加者の指導ぶりについて講評する。

【指導する際の留意点】

- ロールプレートの説明に当たっては、割り当て、状況設定について研修参加者に誤解がないか、また、小道具など用意すべきものが用意されているか確認する。
- 指導者実習は次のような流れになる



- 研修参加者によるロールプレーの実施時間は5分程度を予定しているので、あまりに長くなったときには途中であっても打ち切る。
- 職員役の研修参加者に対する講評については観察ポイントに基づいて行うが、時間の制約もあり指摘する事項は2、3点でよい。指摘する場合には、良かった点と改善が望まれる点の両方を挙げる。